

使用上・取付上の注意

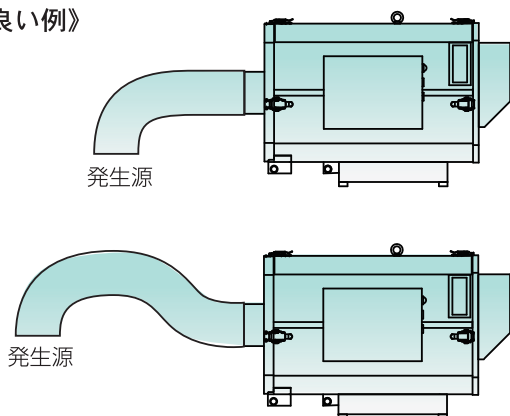
《使用上の注意》 事故や故障の原因となりますので、次のものは絶対に吸わせないでください。

1. 火粉、溶接ヒューム
2. 可燃性物質（ガソリン、灯油、シンナー、ベンジン）
3. 酸、アルカリ、有機溶剤等
4. ワニス、塗料、接着液等
5. 爆発性物質、有害ガス、腐食性ガス、薬品等
6. アルミ、鋳物等の乾式加工のダストや粉類等
7. 50℃以上のミスト
8. 粘性の高い油脂類（ヘバリついたり、固まったりする物）
9. 切粉、研削粉、スラッジを多量に含むミスト

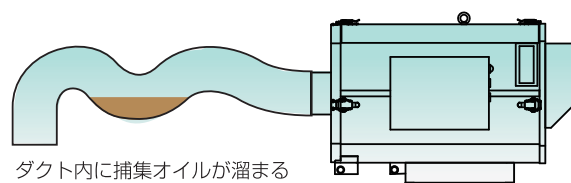
《配管例》

ダクトはフレキシブルダクトまたは固定配管（別売）を使用し、下図のように垂れ下がりのないようにしてください。継ぎ目にはシーリング剤を使用してください。

《良い例》



《悪い例》

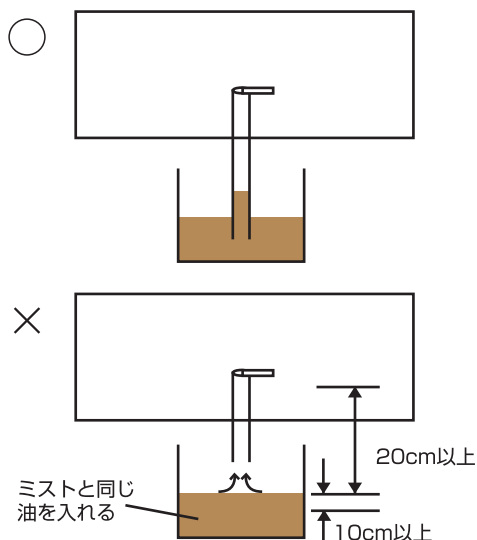


《排油方法》

本措置設置の際は、常時排油できるように配管してください。常時排油をしないと本体下部に油が貯まり、本体よりあふれ出るおそれや、排気口から油が飛散するおそれがあります。本装置の底部 2ヶ所にある排油口に付属のホースを取り付け排油の準備をしてください。

本体底部 2ヶ所の排油口にホースを取り付けてください。油受けを用意し捕集するミストと同じ油を入れてください。ホースを油の入った油受けの中に 10cm 以上入れてください。排油の準備完了です。

《排油口より油受けまで》



重要

1. ホースの中には必ず捕集するミストと同じ油を入れてください。
2. ホースを曲げた時にホースがつぶれないように注意してください。ホースがつぶれていると正常な排油ができなくなります。
3. ホースは付属のホースをご使用ください。

注意

1. 常時排油をしないと本体底部に油がたまり本体よりあふれ出るおそれや、排気口から油が飛散するおそれがあります。
2. 油受けは必ずホースの口が出ないよう油を入れてください。ホースの口が油面より出ているとそこから空気が吸引されて、本体にたまった油が排気口から噴出すおそれがあります。